

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 川崎大島教室 保護者等数(児童数)34 回収数 31 割合 91.176470588235 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	1		2	・十分広くスペースを確保されていると思う。 ・人が多いと狭いと思う。 ・確保されていると思う。 ・広々としている。	・当教室より広い教室の紹介
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28			3	・必要な時に叱ってくれていると感じる。 ・人は十分にいると思う。 ・どの先生も素晴らしい。 ・いつも細かく様子を伝えてくれるので適切だ。 ・送迎の車内でも、運転手の他に添乗員がいるので安心する。 ・新しい職員が増えた際に自己紹介が書かれた紙はもらえないか？名前がわからないことがあるので…	・送迎時に「こぼんはうすさくら川崎大島教室の〇〇です。」と名乗りつつお電話を入れているが、該当の保護者には強調して連絡する。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	2		8	・見学の際に問題なく楽しそうにしていた。 ・気にしてなかったのだから。 ・段差がないので、バリアフリーだ。	・引き続き、適切な対応をしていく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	31				・個人を見て的確な内容と思った。 ・分かり易く作成されていると思う。 ・子どもをしっかり見てくれて感謝している。 ・分析されている。気づいていなかった子どもの特性を教えてくれている。 ・保護者の意見をよく聞いて計画を立ててくれていると思う。 ・子どもの意見は反映されていないので、子どもとも面談があれば親にはない気付きがあるのかもしれない。	・いわゆる「三者面談」を希望する保護者もあり、実現の必要性とメリット・デメリットを含め検討していく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	29	1	1		・工作や食育、お出かけもあり、いつも楽しく通っている。 ・季節行事がありがたい。 ・色々なプログラムが毎回楽しみにしている。 ・最近にまたお出かけのプログラムが増えて嬉しく思う。 ・とても工夫されていてなかなか家でさせてあげられないプログラムを行ってくれてありがたい。 ・様々なプログラムがあって、子どもと毎回予定を楽しみにチェックしている。 ・ある程度固定化されているものも含めて工夫されている。	・引き続き、適切な対応をしていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	5	5	12	・教室の中だけで満足している。 ・プライベートで遊びに行くこともある。 ・わかりません。 ・わくわくや公園である。	・社会福祉事務所を中心とした地域コーディネーター等の専門職への相談の促し
保護者 への 説	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30			1	・その都度に説明がされている。 ・分かり易く説明している。 ・長く通っているが丁寧に説明してくれている。	・引き続き、適切な対応をしていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31				・送迎の際にお話しがあり、自分からは話せない子なので助かっている。 ・できている。 ・忙しい中で簡単に伝えるのは大変だと思いますが努力を感じている。SNSの利用をできるようになり楽になった。 ・親身になってくれており、時折、家での反省点に気づかされる。 ・連絡帳はもちろん、送迎の際に今日あったこと等を教えてくれ子どもの状況が分かりありがたい。 ・家での様子、放デイの目標に対して現在の様子などを面談で聞くことができ、共通理解できていると思う。 ・プログラムで上手にできたこと、頑張れたことなど送迎の際に確認できている。	・引き続き、適切な対応をしていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	1			・LINEでも相談した。親身に話を聞いてくれた。 ・時間をかけて話を聞いてくれた。 ・いつも助かっている。 ・親身になって話を聞いて下さりとてもありがたい。 ・アドバイスをたくさんいただき、支えられていると感じる。 ・家では見せない言動を伝えてくれ、親でも気づかないことを教えてくれ、それに対して助言をくれてありがたい。 ・定期的に面談があり、放デイの様子を聞くことができ、家庭での問題を伝えることで助言をもらっている。	・引き続き、適切な対応をしていく。

明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	5	11	7	<ul style="list-style-type: none"> ・(そういった活動に)興味が元々ない。 ・お友達からの紹介で、こぼんに知り合いがいる。 ・参加してないので分からない。 ・時勢があり仕方ないが参加したい気持ちもある。 ・保護者会という形ではないが、同じ学校のお友達の保護者とは、交流や連携がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性があるご家庭には、地域の父母の会といった集まりについてお話を検討する。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	5		11	<ul style="list-style-type: none"> ・以前にクレームを入れたことがある。電話口で不満が話せたので気持ちが和らいだ。 ・「クレームじゃないけど…」と前置きしたが、しっかりと対応してくれた。 ・今までなかったので分からない。 ・周知してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者を通し本人ではなく「上」から話すことで溜飲を下げように対処している。 ・職員の立場での話も聞き、相互的に判断できるようにしていきたい。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1			<ul style="list-style-type: none"> ・LINEでよくスポット利用や変更を連絡している。 ・そう思う。 ・振り替えや休みの連絡など、きちんとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適切な対応をしていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31				<ul style="list-style-type: none"> ・新聞が楽しみ。 ・こぼりんピックの結果が本当にうれしかった。動画も楽しく見た。 ・毎回楽しく見ている。 ・細かくしている。写真でニコニコしている子どもの姿を見れるので嬉しく思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適切な対応をしていく。
	14	個人情報に十分注意しているか	30			1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を使わないようにお願いした。その通りに今も対応してくれている。 ・そう思う。 ・されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適切な対応をしていく。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29			2	<ul style="list-style-type: none"> ・説明はされたが、忘れてしまった。 ・手紙で貰った。 ・説明されている。 ・以前、コロナの時は対応が早かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配付物をなくしてしまう利用者には、情報のデジタル化を促す。 ・なくさぬように、保護者のケアと支援も引き続き実施していく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29			2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日以外に多いので、あまり参加できていない。 ・防災センターで楽しく学んだようだ。 ・行われていると思う。 ・よく避難訓練してくれるので、子どもが楽しく家でやっている。 ・定期的に避難訓練のプログラムがあり、子ども頭の片隅にでも災害のことが残すことができていと思うので助かっている。 ・待機的な訓練に加え、慣れたら抜き打ちでもやってもらえれば精度があがるのかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練へのスポット利用の促し
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	31				<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちのお話も楽しそうにしている。 ・お友達の話も家でしている。 ・楽しんでいる子どもの意思を尊重していきたい。 ・たくさんさんのプログラムがあり、こぼんさんが一番種類が多い。 ・学年が上がるにつれて卒業も検討していたが、子どもが「行きたい」といっている。 ・楽しみにしています。 ・とても楽しく通っている。 ・身につけているのだと思う。楽しみにしている。 ・プログラムをとても楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足して頂いている意見に感謝を感じつつも、利用日数の増加と売り上げの向上を加味させていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	31				<ul style="list-style-type: none"> ・いつもお世話になっております。 ・はい。 ・安心できている。 ・満足している。 ・いつも楽しく過ごせている。ありがとう。 ・時々、渋りますがまたこぼんが一番好き!!って言ったりもします。満足しています。 ・子どもがいつも楽しそうに帰ってきているので、とても楽しく活動しているんだと思う。 ・定期的な面談、送迎時でのその日の様子の話しや個別記録プログラムがあり、子どもの状況が把握でき助かる。 ・学校に比べると職員が多いので困ったときに自分から声掛けができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足して頂いている意見に感謝を感じつつも、利用日数の増加と売り上げの向上を加味させていく。

471

21

17

49

84%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 川崎大島教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・前日、当日と職員全員で利用定員を把握し適切に確保できている。	・個々に活動する時間には、仕切りを設けてエリアを明確にしていきたいが、配置職員人数の観点から困難だ。
	2	職員の配置数は適切である	1	5	・職員の急な休み等にも職員全体で協力、対応し適切な配置数に近づけるよう努力している。 ・不足している。パートをその都度に補充している。	・人数が増えればできること・利用者の受け入れも広がるので、配置人数の増加を検討してほしい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	・小さな子どもに向けてバリアフリー化されており、配慮が適切である。	・歩行訓練といった個別支援が必要な利用者に関しては、さらなる専門機関への紹介が本人のためにもなる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・ミーティングを行いPDCAサイクルを活用して問題解決を図っている。	・現状で必要十分な方法で行えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・アンケート調査以外でも口頭、面談での意見を職員全体で把握し業務改善に繋げ対応している。	・要望に沿った手段の充実を図っており、公式LINEアカウントの運営もその一環である。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	・必ず職員から意見をもらいミーティングによる情報共有と議事録による記録と保管を実施している。	・LINEなどを活用して、第三者へ公開することを検討する。 ・個々の教室ごとのHPがあれば、避難経路やこれをデジタル化し公表しやすいと思うので、本部の方で検討してほしい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	・評価する第三者機関があるのか自分にはわからない。	・実施しているのであればその旨をしっかりと周知するよう明確していく必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・新人研修をはじめ、外部の強行やサビ管などの研修にも積極的に参加している。 ・新人研修や外部施設研修などを随時実施し、資質向上に努めている。	・参加する職員もおり、さらに行ってほしい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		・保護者のアンケート結果を鑑みても、そのように作成していると感じた。 ・児童発達支援管理責任者を中心に、子どもの状況や課題を共有して達成したい(できる)目標を設定している。	・ニーズに即し、尚且つこの機関で達成できる内容を反映していると感じる。 ・本人のためにも、より専門的な支援が求められる場合には、専門機関の利用の促しも行っていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・保護者のアンケート結果を鑑みても、そのように使用していると感じた。 ・児童、保護者に対して、アセスメントシートを用いている。また、聞き取りシートなどを活用して子どもの状況を把握、共有できるようにしている。	・使用している。また、その結果に対しての方法の共有も密に行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・部分的な作成工程、作業工程は個人で行っているが、その意見については複数人で実施している。 ・児童発達支援管理責任者が原案を考え、他の職員からアイデアを募っている。	・行っている。話し合いの機会や、そのデータの取り扱いといった面も個人一人ではなく複数人がかかわっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・当月を考えるにあたって、これまでの月のプログラムの実施状況を鑑みて進めている。 ・誕生日パーティーやお買い物ごっこなど月に必ずあるものは曜日をずらす等して参加する子どもに変化をつけている。	・工夫している。また、実施するプログラムの内容も児童発達支援管理責任者や管理者に確認を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		・している。平日利用、一日利用それぞれに合わせた内容を展開している。 ・長期休暇等では宿題の支援により力を入れている。お出かけ等療育時間に応じたプログラムを提供している。	・支援している。終日外出するようなプログラムを実施するために、現地の予約や事業所としての割引なども活用している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		・毎日、個別支援として集団活動とは別の形での支援を実施している。 ・来所時間の関係上、その子どもの個別支援の時間が不十分になることがあるので、改善が必要である。	・作成している。内容については、ケースカンファレンスや日々のモニタリングを通して適宜、変更している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・朝、昼、夕のミーティングで申し送りを行っている。 ・即時の共有のためにBAND等のアプリによって記録を残している。	・確認している。日に3度の申し送りによる連絡の強化もより密に行っていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・朝、昼、夕のミーティングで申し送りを行っている。 ・即時の共有のためにBAND等のアプリによって記録を残している。	・共有している。日に3度の申し送りによる連絡の強化もより密に行っていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・日報の記録を忘れずに行っており、正しく記述するよう徹底している。	・業務日報や連絡帳、個別支援記録表の記載を徹底しており、引き続き文書記録として反省出来るように徹底していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		・定期的なケースカンファレンスの実施により、状況に応じて変更をしている。	・随時のケースカンファレンスの実施により、見直しの検討を引き続き行っていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6		・反することなく支援を実施している。	・引き続き行っていく。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・必要に応じて参画している。	・引き続き行っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		・保護者を通して送迎時間の調整や変更可能な限り応じている。	・場合によっては平均的なやり取りの範疇に収まらない家庭もあり、必要な支援を必要な量で行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	・医療的ケアを必要としている児童については、よりふさわしい専門機関に促している。 ・面談時に相談、整えている。	・利用者のパーソナルデータとして、関係機関に病状等含めアセスメントシートに記載している。今後実施していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		・児童発達支援から放課後等デイサービスへあがる利用者が多く、自然とやり取りが続いている。 ・児童発達支援からの引継ぎは特に密に行っている	・未就学から利用していた者に関しては、引継ぎがスムーズに行われており、今後も実施したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	・現在までに卒業した児童がいないため行っていない。 ・該当ケースが無いため不明。	・今後に備えた情報の管理や共有の仕方についてなど考えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		・療育センターや学校でのケース担当会議に複数回参加した実績がある。 ・定期的に行っている。	・引き続き行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	・放課後児童クラブに関しては、送迎などで交流する多くの機会がある。 ・利用者個人で交流している事例がある。	・必要な関係機関との連携に関して、改めて鑑みていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	・今までに事例がない。	・当教室内では事例がなく、今後求められる場合の備えを行っていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時、定期的な面談で従来通りに話している他、公式LINEアカウントを通して悩み事を傾聴する機会も増えた。	・ご家庭によっては、父と母それぞれで認識が異なっていたり、療育に関係する者(当教室とやり取りをする者)が限定されており、円滑なコミュニケーションを更に促していきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		・保護者が困っている事や子どもに対してどう対応したらいいのか職員から保護者に提案したりしている。	・ご家庭だけの解決が難しい場合や第三者の介入にふさわしい事例の際には、スムーズな関係機関との連携を強めていきたい。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約の際に伝えている。	・引き続き行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・送迎の際に、教室内での出来事や相談事をお伝えしている。	・話しを進めていくうちに他の関係機関との連携が必要と判断された時には、円滑な協力体制を築いていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・父母の会といった活動は行っていない。	・必要性を考えると、一部の保護者の強い要望には他に類する福祉サービスを促していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・苦情があった場合には、職員全体で共有し管理者や児童発達支援管理責任者から保護者への対応を実施している。	・お互い(利用者、職員)の意見を聞き客観的な判断をする中で、保護者の理解が得られるよう必要な措置を適宜に実施していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・インスタグラム、ブログ、新聞、youtubeにて行事の公開を実施しており情報を発信している。	・情報の発信をしている事に対する認知を深めるための手段が求められる。
	35	個人情報に十分注意している	6		・個人情報を外部に出さぬよう職員全体で共有している。	・全員が理解できるような情報共有方法が求められる。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・言語の壁がある保護者が多く、ひらがなで分かり易い日本語を用いたり、世界共通語である英語による文章でのコミュニケーションを図っている。	・一部の職員だけでなく、全員が実行可能な敷居の低いコミュニケーション方法が求められる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	・地域住民を招待する行事等ははまだ実施していない。	・実行にあたるメリットとデメリットを踏まえて必要性を考えていきたい。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		・担当職員を置いてマニュアルを作成し共有している。	・マニュアルを電子化し何時でも確認可能な体制を整えていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・毎月のプログラムに入れている。	・複数回の参加要望のある利用者に関しては、スポット利用による参加の強い促しをしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・研修を実施している。	・引き続き行っていく。

時 等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		・個々のカンファレンスで情報や状況を交換後に面談で説明を行っている。	・そもそもとして、そういった事態にならぬような場面を展開しており、今後も続けていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・面談やアセスメントでお聞き取りしたことに關して共有し、掲示もしている。	・アレルギーの有無以外に食育としての提供可能な食品について確認しているが、利用者の方針が変わった際には円滑に情報を共有できるように定期的な聞き取りを実施していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・ヒヤリハットがあった場合に同日ないしは翌日にミーティングで共有しファイリングし保管している。	・ヒヤリハットへの記入の意識が低い職員も見受けられるため、積極的に促していきたい。